取付完了後の確認

○温度調節ダイヤルの確認

・温度調節ダイヤルが最高温度側「高い」側いっぱいに回っているか、確認してください。

通水試験

通水試験は、通水後の給・排水系統、さらにそれらと器具の接続部分の漏水の有無を確認する大切な作業です。

（1）通水試験のポイント

・通水試験は事前に全ての器具、配管等の連結部が完全に接続されているか確認した後、実施して下さい。また、電気配線についても間違いがない事を確認後、通電するようにしてください。

・通水試験については、建築・設備担当者または、責任者の承認、指示を受け、その立会いのもとで実施して下さい。併せて試験結果を検査表として整理し、立合い者のサインをもらっておくと良いでしょう。

・通水試験時には必ず、2名以上の人員を配備しPS内元バルブ開閉者とトイレパックの漏水確認者とに分かれて作業してください。もしも元バルブ以降の配管・器具の外れ、又は接合部からの大きな漏れが発見された場合に、ただちに元バルブ開閉者へ合図・連絡を行うことで速やかな対応ができ、事故を最小限にくい止めることができます。ぜひ守ってください。

・元バルブ開閉は静かにゆっくりと開閉してください。

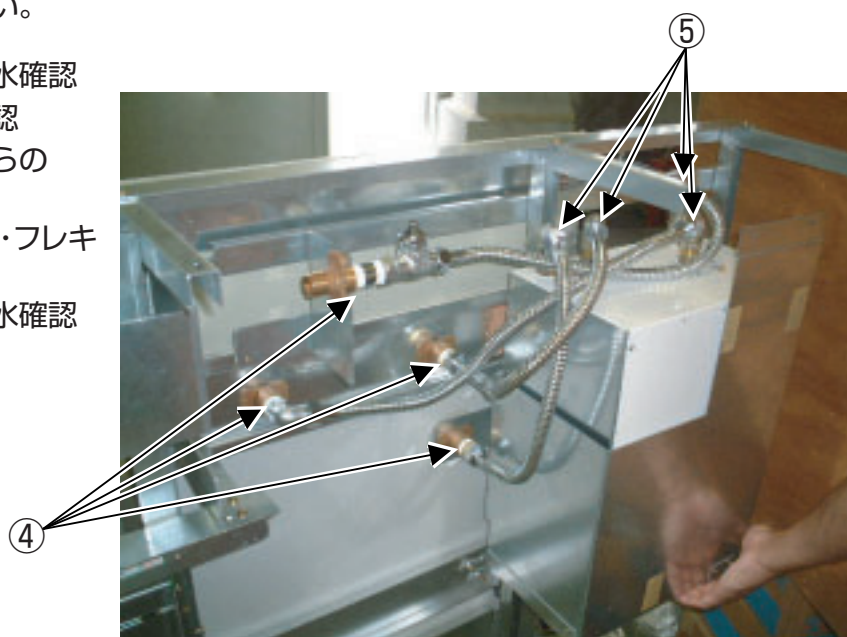
・PS内には他にもいろいろな配管、バルブ類がありますので、間違わないよう良く確認して開閉をしてください。

・初期通水の場合、配管工事上の異物が混入していることがあるため、各器具部で詰まり、噛みこみが発生し、正しい流量・作業が確保されないことがありますので注意してください。
（止水栓・スパウトのフィルター・網目に詰まった異物はブラシ等で取り除いてください。）

（2）必要な水圧

・0.07MPa以上（流動時）の水圧が必要です。（最高水圧0.75MPa．）

<チェックポイント>
※下記確認項目に加え、各器具同梱の
施工説明書にも従ってください。

①フラッシュバルブ一次側の漏水確認
②洗浄管・スパッド部の漏水確認
③シャワー水栓の給水脚廻りからの
漏水確認
④フレーム内のエルボ･ニップル･フレキ
管袋ナットからの漏水確認
⑤電気温水器のＬ継手からの漏水確認
（4ヶ所）
⑥排水まわりの漏水確認

・施工検査または引き渡し時においては、次にあげる資料をとりまとめて、お客様にお渡しください。

1　トイレパックの取扱説明書（最後のページに必要事項をご記入ください）
2　附属器具の取扱説明書
3　附属器具のメンテ用治具

・使用方法もご説明ください。
・説明書等の手渡しができない場合は、工事完了後目立つ所に置いてください。